

5年

想像力のスイッチを入れよう

新潟市立上所小学校 五十嵐 健太

単元の特徴・付けたい力

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
・文の中で語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴についての知識	・文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げる力 ・事実と感想、意見などの関係を叙述をもとに押さえ、文章全体の構想を捉えて要旨を把握する力	・思いや考えを伝え合おうとする態度

ICTの活用について

- ・事例と意見の関係を押さえて読むために、デジタル教科書に用意されている「事実」や「筆者の考え」の「スタンプ」を用いて、文の役割を把握する。
 - ・「マイ黒板」上に、挙げられている事例を抜き出して整理し、それに対する筆者の考えが記述されている箇所を考える。
 - ・筆者の考えを整理した「マイ黒板」を振り返り、文章の要旨を捉えて書き表す。
- [社会科との教科横断的内容]
- ・今までのメディアとの付き合い方と本文の内容とを関連付けて、自分の考えをまとめる。

全時学習活動（全7時間）

時	主な学習活動	
1	学習の見通しをもつ [構造と内容の把握] ・題名やリード文を読み、「想像力のスイッチ」とはどのようなものか予想し、イメージを膨らませる。 ・「事例と意見の関係をおさえて読み、考えたことを伝え合おう」という学習課題を設定する。 ・本文を読み、初発の感想を書く。	  (マインドマップ)
2	文章の構成を理解する [精査・解釈] ・文章を三つのまとまりごとに分ける。	
3	文章の構成を理解する [精査・解釈] ・それぞれのまとまりの内容を簡単にまとめる。	
★4	文章の構成を理解する [精査・解釈] ・それぞれの事例とそれに対する筆者の意見を整理する。 ・筆者の意見に関する効果について話し合う。	
5	文章の構成を理解する [精査・解釈] ・「想像力のスイッチ」とは、どのようなものか本文中の言葉を使ってまとめる。	 
社会科	我が国の産業と情報に関わる内容の学習	
6	メディアとの関わりについて、自分の生活を振り返る [考えの形成] ・自分の生活を想起し、メディアとの関わりを振り返る。	 
7	友達と意見を交流する [共有] ・友達と意見を交流し、自分の意見との相違点や感想を伝え合う。	

★4 時の指導計画例

<p>◇学習活動・指導上の留意点 ◆ICT・デジタル教科書の活用場面</p>	<p>◆児童の反応 □先生の感想</p>
<p><u>導入：前時の学習を振り返り、本時の学習課題をつくる</u></p> <p>◇それぞれのまとまりの内容を振り返り、事実と筆者の意見を整理する学習課題をつくる。</p>	
<p><u>展開(1)：本文を読み、事実と筆者の意見に印をつける。</u></p> <p>①本文を読む。</p> <p>◇事実と意見を見付けるという意識ももたせた上で、本文を読む。</p> <p>②「事実」と「筆者の考え」の「スタンプ」を付ける [図 1]。</p> <p>◆事実には「事実」、筆者の意見には「筆者の考え」の「スタンプ」を貼り付ける。</p> <p>◇マーカーを引いたり、他の方法で印を付けたりすることも認める。</p> <div data-bbox="568 488 775 819" data-label="Image"> </div> <p>図 1：「スタンプ」機能の活用</p> <p><u>展開(2)：事実を整理し、それに対応する筆者の意見を抜き出す</u></p> <p>③事実と筆者の意見を「マイ黒板」に抜き出す [図 2]。</p> <p>◆「マイ黒板」に文章構成表を作る。</p> <p>◇一つ目の事例は、全体で確認し、その後、自力解決を目指す。</p> <div data-bbox="477 1140 804 1386" data-label="Image"> </div> <p>図 2：「マイ黒板」の活用</p> <p><u>展開(3)：筆者の意見に関する効果について話し合う</u></p> <p>④表現に関して、筆者の意見の効果について話し合う。</p> <p>◇隣の席や近くの友達と交流することを促す。</p> <p>◆自分の考えをロイロノートなどにまとめる。</p>	<p>◆「スタンプ」を効果的に活用し、本文中に印を付けていた。</p> <p>◆「スタンプ」だけでなく、マーカーを引くなど別な方法で印を付けている子どももいた。</p> <p>□「抜き出す」となると、書き出す量が増えたり、行数などで示し、よく分からなくなったりしがちである。しかし、「スタンプ」であれば、本文中に直接自分の考えを示すことができるので、友達と考えを共有する際、自分の考えを伝えやすくなる（見せる場所がはっきり分かる）。</p> <p>◆直線が簡単に引けるので、文章構成表もあっという間に作り上げることができた。</p> <p>◆本文は、なぞるだけで抜き出すことができるため、「抜き出す」「推敲」「修正」のプロセスを繰り返して、自分の考えを形成していた。</p> <p>□なぞるだけで抜き出すことができるので、書く量が減り、思考することに時間を割くことができる。</p> <p>□書くことが苦手な子どもや国語の学習が苦手な子どもも、意欲的に課題に取り組むことができる。</p>
<p><u>まとめ：学習を振り返り、次時の見通しをもつ。</u></p>	<p>子どもたちは、本文中から事実と筆者の考えを抜き出して、「マイ黒板」上に整理できた。</p>